

# 製品特長

## 1. リスクアセスメント 実施義務なし

労働安全衛生法に指定された**リスクアセスメント実施義務**のある化学物質を使用しておりません。

## 2. 浸透溶解性の向上

樹脂塗膜に浸透し溶解する溶剤、アミン等の成分を見直し、現スカッシュパワータイムよりはく離力が向上。

## 3. 優れた濡れ性

溶剤の濡れを促すレベリング剤配合により、希釈液がはじかず床面に濡れ広がります。

## 4. 良好な作業性

剥離污水が低粘度なので回収と水拭きが簡単。泡立ちが少ないので作業効率も良好。

## 5. 環境配慮

**PRTR非該当** 環境ホルモン対応。  
シックハウス、シックスクール配慮。

## 6. ノンリンタイプ

ノンリンタイプで水拭きも簡単。

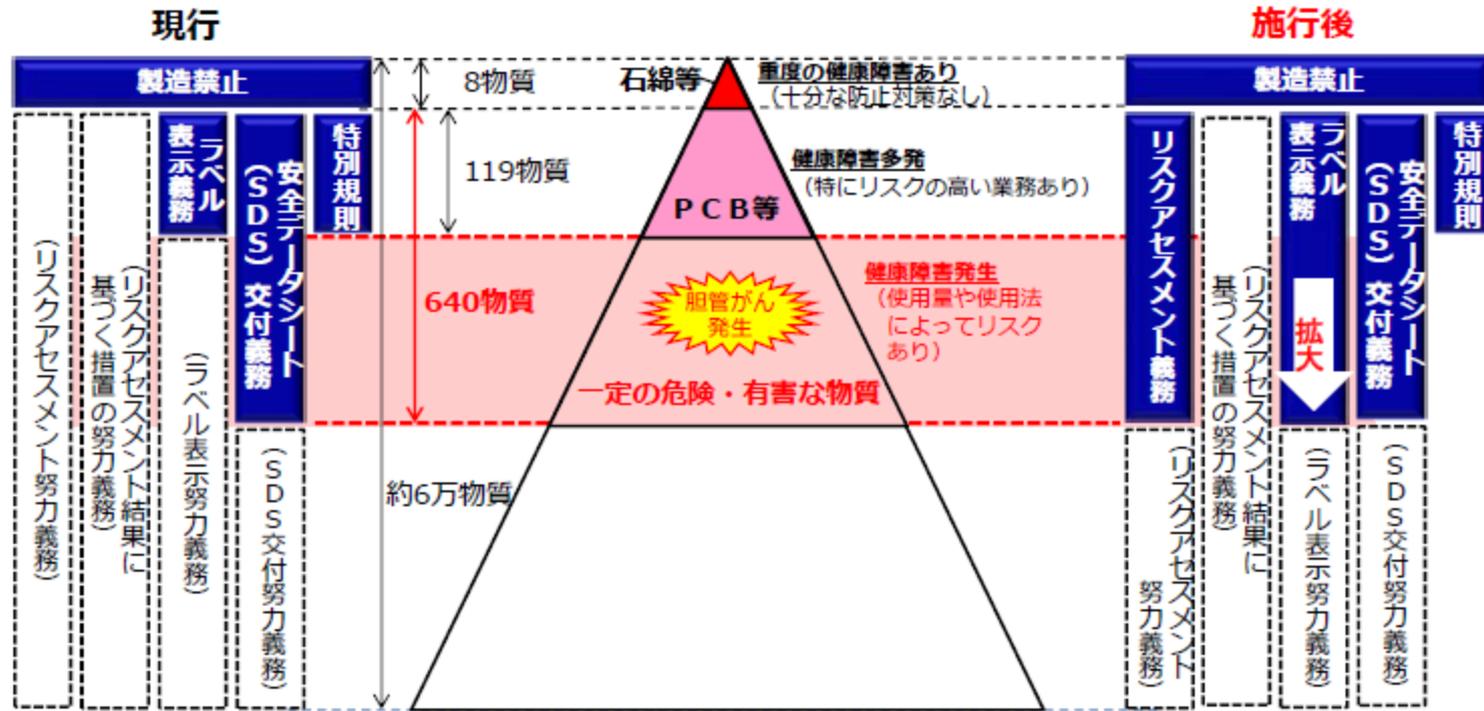
## 7. 低臭性

低臭性原料を選定。

## 労働安全衛生法令の改正（平成28年6月施行）について

### 【改正趣旨】

一定の危険有害性が明らかになっている化学物質について、労働災害の未然防止を図るため、事業者及び労働者がその危険有害性を認識し、事業者がリスクに基づく必要な措置を検討・実施する仕組みを創設する



# リスクアセスメント

## リスクアセスメントとは

化学物質のもつ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険または健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減対策を検討すること。

## 労働安全衛生法改正（平成28年6月1日施行）

化学物質による労働災害を未然に防止するため、一定の危険性・有害性が確認されている化学物質にリスクアセスメントが義務づけられた。

① **リスクアセスメント実施義務のある対象物質は、安全データシート(SDS)の交付義務のある化学物質。今回の労安法改正で、104物質から640物質に拡大。**  
(さらに平成29(2017)年3月1日、**27物質**が追加されます。)

② **リスクアセスメントの実施義務対象640物質について、譲渡提供時に容器などへのラベル表示が義務づけられた。**

＜ラベル表示の例＞

絵表示



(感嘆符)



(腐食性)



(健康有害性) など

注意喚起語

危険、警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ、皮膚に接触すると有害のおそれ など

③ **業種、事業場規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取扱いを行うすべての事業場が対象。**

# 製品特長詳細

## 1. リスクアセスメント実施義務なし

スカッシュパワータイム II は、労安法改正で指定されたリスクアセスメント実施義務のある化学物質を使用しておりません。

ドクター 30 II SDS 抜粋

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 (%)	労安法 通知対象物	PRTR法	CAS No.
2-アミノエタノール	19	21号	第1種20号	141-43-5
アルコール系溶剤	50~60	非該当	非該当	非公開
アミン類	10~20	非該当	非該当	非公開
陰イオン系界面活性剤	1~10	非該当	非該当	非公開
水	残量	非該当	非該当	—
合計	100			

スカッシュパワータイム II SDS 抜粋

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 (%)	労安法 通知対象物	PRTR法	CAS No.
アルコール系溶剤	30~40	非該当	非該当	非公開
アミン類	30~40	非該当	非該当	非公開
陰イオン系界面活性剤	1~10	非該当	非該当	非公開
無機アルカリ	<1	非該当	非該当	非公開
金属イオン封鎖剤	<1	非該当	非該当	非公開
水	残量	非該当	非該当	—
合計	100			

ドクター30 II 等のはく離剤は、リスクアセスメント実施義務のある化学物質である、2-アミノエタノールを使用していますが、スカッシュパワータイム II は、使用しておりません。

# 製品特長詳細

## 1. リスクアセスメント実施義務なし

### はく離剤の成分とその働き

成分	働き
溶剤	樹脂塗膜に浸透し、樹脂塗膜を溶解する。
アミン類	樹脂塗膜に浸透後、樹脂塗膜を分解し、溶剤に溶けやすくする。
界面活性剤	希釈液が均一に樹脂塗膜上を濡れ広がるようにする。 はく離汚水のねばりの低減、再付着防止。
水	除去された樹脂を分散させる媒体

はく離剤の成分とそれぞれの働きを上表に示します。

今回の労安法改正でリスクアセスメントの指定化学物質となった、**2-アミノエタノール**は、アミン類の一種。アミン類は、樹脂塗膜の金属架橋結合を切断し、樹脂塗膜の分解を促す成分で、ハクリ剤の必須成分のひとつです。

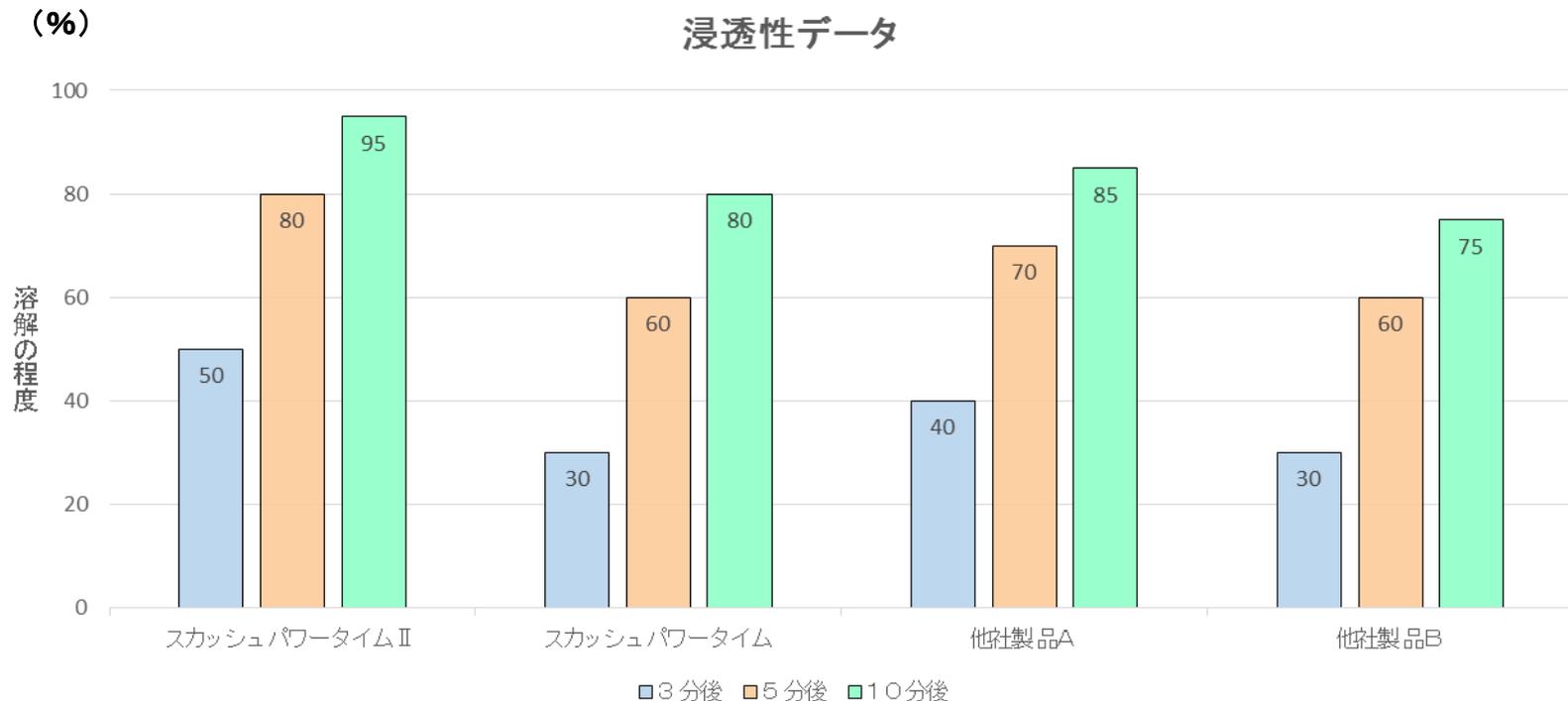
**2-アミノエタノール**は、樹脂塗膜に対する浸透性、適度な沸点範囲、臭いのすくなさ等、優れた特性を有すために、はく離剤に多用されています。

スカッシュパワータイムⅡは、リスクアセスメント対応として、**2-アミノエタノール**は使用せず、**2-アミノエタノール**と同等の特性を持つ**他のアミン類**を採用しました。

# 製品特長詳細

## 2. 浸透溶解性の向上

樹脂塗膜に浸透し溶解する溶剤、アミン等の成分を見直し、はく離力が向上。

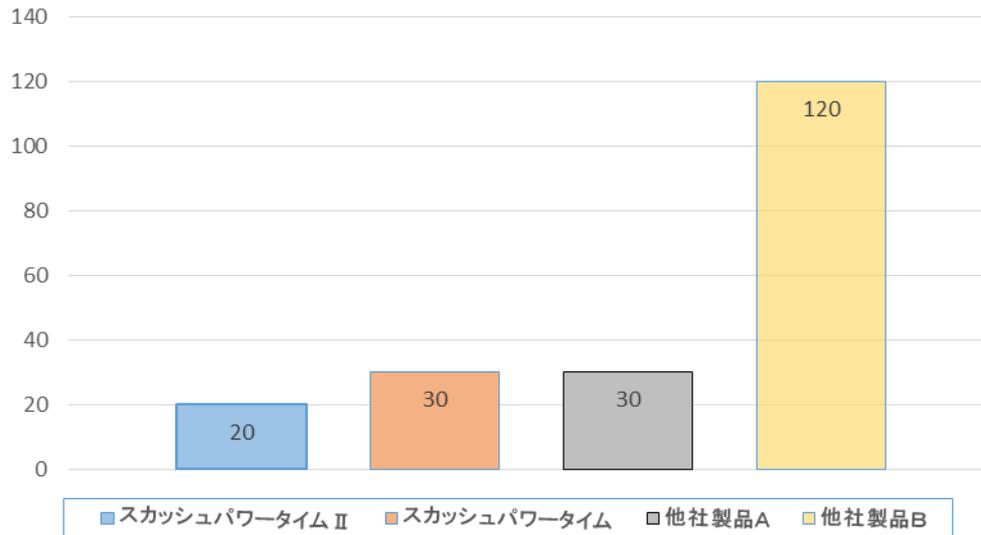


※黒色塩ビタイル、プログロス4回塗布、塗布後5年以上経過した試験片で比較。  
希釈液を試験片に滴下。所定時間放置後水洗し、溶解除去される塗膜量を目視判定。  
(10倍希釈液使用、希釈液温度25℃)

# 製品特長詳細

## 2. 浸透溶解性の向上

溶解所要時間(分)



塗膜溶解所要時間の比較。  
スカッシュパワータイム II は、現製品や他社製品より樹脂塗膜の溶解性が高いため、より短時間で溶解が完了します。

### 試験方法

- ①ガラス製型枠に樹脂ワックス(スーパーコアU耐久プラス)を流し込んだ後、自然乾燥させ、塗膜(膜厚約200 $\mu$ m)を作成。塗膜作成後約3年経過。
- ②塗膜を粉碎機で、100~200 $\mu$ mの微粒子に粉碎。
- ③各種剥離剤5倍液100ml中(液温25 $^{\circ}$ C)に粉碎塗膜10gを添加し攪拌。その後、攪拌を続け、塗膜が完全に溶解するまでの時間を測定。

# 製品特長詳細

## 3. 優れた濡れ性

はく離剤の主成分であるアルコール系溶剤は、それ自体、濡れが悪く対象面に濡れ広がりにくい性質を持っています。

スカッシュパワータイムⅡには、成分溶剤の濡れを促すレベリング剤(界面活性剤)を添加し、はく離剤希釈液が均一に床面に濡れ広がるようにしています。



《スカッシュパワータイムⅡ》

10倍希釈液塗布直後の濡れた状態。

(対象:樹脂ワックスを4回塗布した黒色塩ビタイル)



《他社製品》

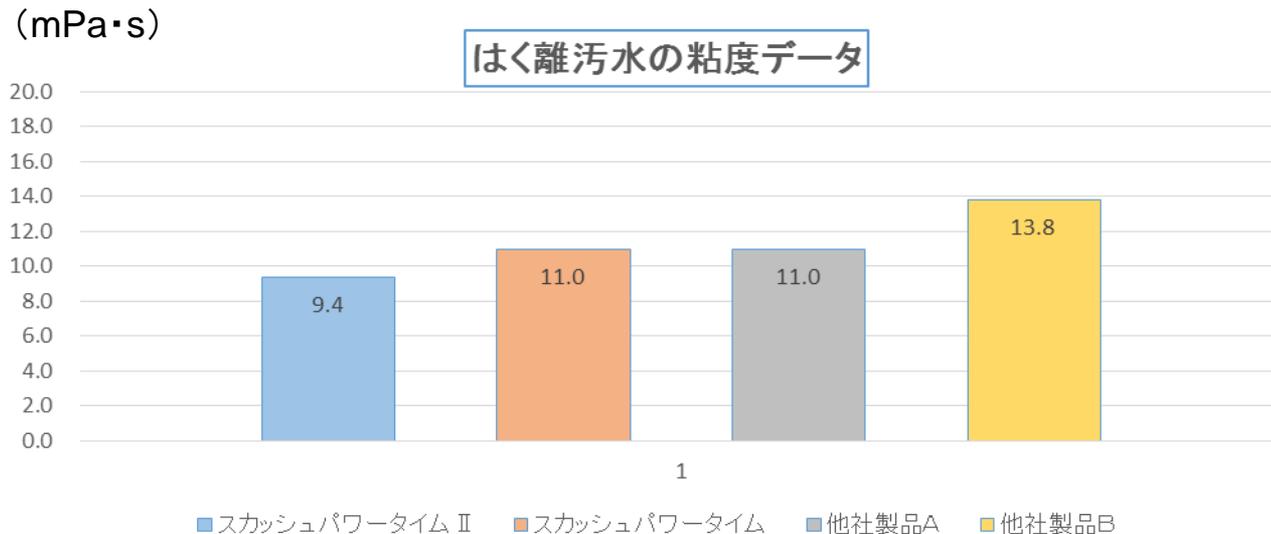
10倍希釈液塗布直後、濡れの悪い状態。

(対象:樹脂ワックスを4回塗布した黒色塩ビタイル)

# 製品特長詳細

## 4. 良好な作業性

- ・剥離污水がサラサラしていますので、污水回収や資機材の濯ぎがラクにできます。
- ・低発泡性のため、污水回収作業がより簡単に行えます。



ハクリ剤希釈液100mlに樹脂ワックスの乾燥塗膜10gを溶解させた時の粘度(B型粘度計、20℃)。スカッシュパワータイム II は、他製品より低粘度で、污水がサラサラしていることを示しています。